

水都大阪を 歩こう

参加費無料
事前申込制

2026 4.26 (日)

午前の部 10:00-12:00

午後の部 14:00-16:00

※各回30分前より受付開始

昔から大阪は、海外と日本を結ぶ
「海の玄関口」として、大切な役目を果たしてきました。
江戸時代には「天下の台所」として、大きく発展しました。
それは、船の通り道の中心になる場所だったためです。
このように、大阪は水との深いつながりがあるため
「水都(すいと)」と呼ばれています。
ミニレクチャーやまちあるきを通して、
「水都」大阪の歴史や特徴などについて、
一緒に学んでみましょう。



同女
キッズカレッジ

集合
場所

北浜フォーラム (大阪証券取引所ビル3階)
〒541-0041 大阪市中央区北浜1丁目8番16号
• 地下鉄堺筋線「北浜駅」1B出口 (地下道直結)
• 京阪本線「北浜駅」28出口 (地下道直結)
• 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」徒歩7分 27出口 (地下道直結)

対象

小学校4～6年生の児童
(要保護者同伴・1名まで)

定員

各回15組
(定員を超えた場合は抽選)

講師

天野 太郎
(同志社女子大学 現代社会学部社会システム学科 教授)

プログラムの詳細・
お申込みは本学Webサイトより▶

申込み締切: 2026年4月8日 (水)



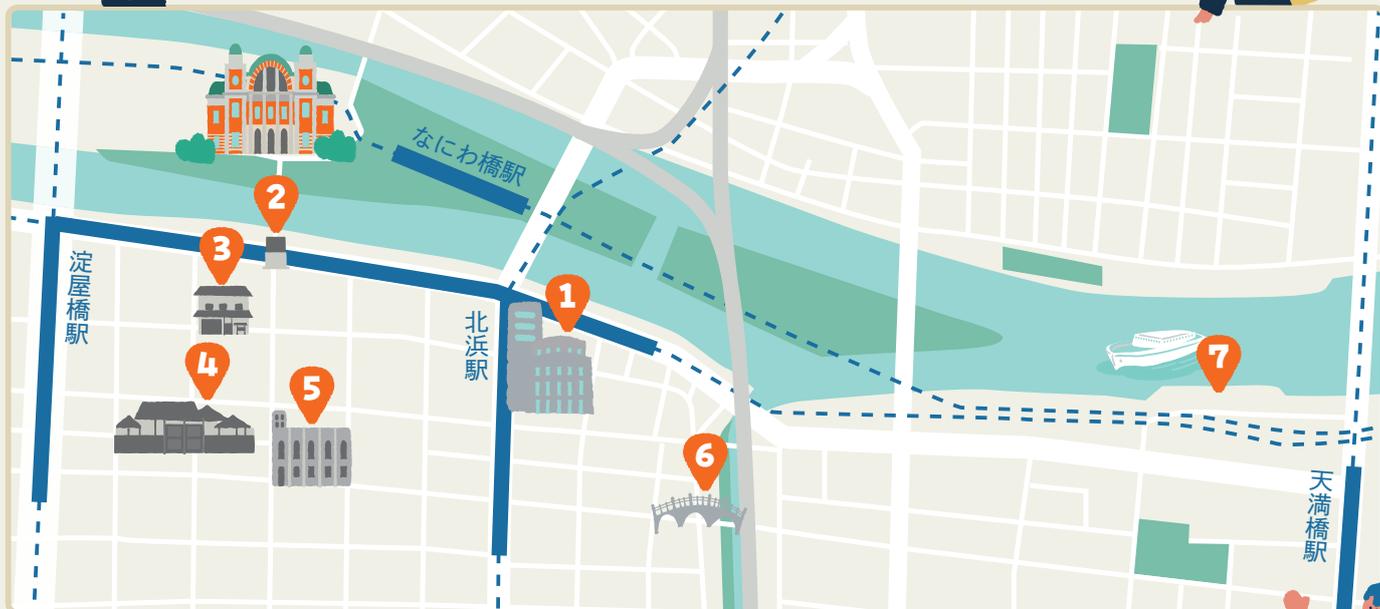
抽選結果は4月13日(月)までに全員にメールで連絡します。
結果が届かない場合は、下記問い合わせ先に確認ください。

- ※ 午前・午後ともに、同一プログラムにて実施いたします。
- ※ 当日は、動きやすい服装でご参加ください。
- ※ 当日イベントは、フィールドワーク最終地点の「北浜駅」にて現地解散となります。
- ※ 多少の天候不順の場合でもイベントを実施いたしますが、荒天時には中止となる可能性がございますので、ご了承ください。

水都大阪を歩こう

今回のツアーでは、集合場所の北浜フォーラムで周辺の地理や歴史について学んだ後、いくつかの見学先を巡りながら、「水都」大阪の経済や商業的な発展の歴史を体感していきます。

見学予定ポイント



1 大阪証券取引所

江戸時代、堂島米会所では、お米の売り買いを通して取引の仕組みが生まれました。その考え方をもとに、1878年に五代友厚(ごだいともあつ)によって、株やお金を取引する「大阪株式取引所」がつけられました。散策のスタート地点となる北浜フォーラムが入るこの建物は、1935年に建てられ、以前は「大阪証券ビル市場館」という名前でした。2004年の建て替えによって、現在の高層ビルに生まれ変わりました。

2 梅檀木(せんだんのき)橋頭彰碑

3 適塾

医者で蘭学者でもあった緒方洪庵(おがたこうあん)を中心として開かれた私塾です。建物は国の重要文化財に指定されています。高いビルが立ち並ぶ北浜の町ですが、その中に現代でも残る歴史ある町屋の姿は珍しく、今でも大切に守られています。

4 大阪市立愛珠幼稚園

5 日本基督教団浪花教会

6 高麗橋

大阪城の外濠(そとぼり)として作られた東横堀川に架かる橋です。1604年にはすでに、擬宝珠(ぎぼし)という飾りのついた立派な橋でした。高麗橋は、重要な場所とされ、江戸幕府が直接管理していました。周辺は、三井呉服店や三井両替店など様々なお店が並び活気にあふれていました。

7 八軒家浜

八軒家浜は、平安時代から大阪の水運と陸路をつなぐ大切な場所でした。江戸時代には、京都と大阪を行き来する船が集まり、とてもにぎわいました。十返舎一九(じっぺんしゃいっく)の「東海道中膝栗毛」に登場する弥次・喜多コンビが、大阪に着いて最初に足を踏み入れた場所としても知られています。

※ 当日の天候等の状況により、見学ポイントを変更する場合があります。

※ 特別な配慮をご希望の方は、申込み締切日までにご希望の内容をお聞かせください。ご要望内容を検討し、できる限りの対応を取らせていただきます。

＼同女キッズカレッジとは？／

小・中学生の児童・生徒の皆さんを対象に、同志社女子大学の教員等がさまざまな学問の魅力を伝えるプログラムとして、2024年度より開講しました。小学校や中学校での学びとは一味違う専門的な学びに触れ、探究心を育む一助となることを願っています。